

令和2年産米の良質米づくりへ向けて、 作業日程、生産資材等の準備と確認をしましょう。



東北太平洋側の長期3ヵ月予報(3~5月)では、平年同様に晴れの日が多い見込みで、3月中旬~4月は気温の高い確率が40~50%、降水量は平年並みの予報です。農繁期に入りますので、事前に農業機械、播種機等の準備・点検を行いましょ。

◎種子消毒・育苗の準備は計画的に行いましょう。※病害の予防に努めましょう。

●種子消毒は薬剤を確認して必ず行いましょう。(モミガードC水和剤、テクリードC等)

「イネばか苗病」の発生が見受けられた圃場は、化学農薬で必ず処理して下さい。

●浸種温度や日数(水温と浸種日数を逆算して、催芽・播種日を検討しましょう。)

浸種水温 約10℃~11℃ ⇒ 10日間(水交換は2~3日ごと)

※尚、「ひとめぼれ」は、休眠性が強いので、浸種は12日間を目安として下さい。(備蓄種を含む)

●浸種水温は15℃以下で管理、**催芽時は「30℃以上」にしないこと。**

◎資材消毒 育苗箱等は病害軽減の為「イチバン」剤で事前に消毒しましょう。

○希釈倍数.....500~1000倍の薬液へ浸漬処理

◎播種 ~ 代掻き ~ 田植え (但し、乾田直播栽培等を除く。)

●播種時期は、4月10日前後から始まると思いますが、播種後~緑化期のハウス内温度が高温にならないように管理しましょう。(ハウス内の温度25℃前後)

<管内>ひとめぼれ 播種 4月3~4日頃から(県内盛期 4/11~12頃)

田植 5月4~5日頃から(県内盛期 5/9~12頃)

環境保全米栽培の申込者へ温湯消毒処理のお知らせ

<環境保全米栽培の取り組みについて> 「令和2年用水稲用農薬予約申込書」参照

★本年は、イネばか苗病の予防対策として「タフブロック」(微生物農薬)で種子消毒を基本としております。

①品 種：ひとめぼれ・ササニシキ・つや姫 (3品種のみ)

②温湯消毒：上記の3品種のみ受付いたします。(慣行栽培は薬剤による種子消毒とする)

○各地区の搬入場所・受付時間 **午前9時~10時まで**

※時間まで搬入出来ない場合は直接、愛島低温倉庫へ搬入下さい。(午前11時30分まで)

搬入日	対象地区・組織	搬入場所(受付日)
3月12日(木)	玉浦①	玉浦松原倉庫
3月13日(金)	愛島・高館	愛島低温倉庫
3月16日(月)	玉浦②・館腰	玉浦松原倉庫、館腰：愛島低温倉庫
3月17日(火)	予備日	※調整日
3月18日(水)	生産組織等①	愛島低温倉庫 ※生産組織一部でも可
3月19日(木)	閑上・下増田	美田園支店
3月23日(月)	予備日	愛島低温倉庫
3月24日(火)	増田・千貫	増田：増田支店、千貫：愛島低温倉庫
3月25日(水)	生産組織等②	愛島低温倉庫 ※生産組織一部でも可
3月26日(木)	予備日	
4月6~7日頃	生産組織等播種が遅い方	※調整いたしますので事前にご連絡下さい。

※環境保全米栽培の追加申込は、3月中まで受付しておりますので、宮農支援課までご連絡下さい。<022-384-2158>